

びとう和広後援会ニュース

2020.10.10

第55号

発行責任者
浅居繁樹

安心で元気な
三田のために

これからも全力で
頑張ります！



10/5

5期目の当選証書を
前任の馬場先輩から

後援会の皆様には、日ごろより力強いご支援・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を、心から願っております。

9月27告示・10月4日投・開票の三田市議会議員選挙では、5期目の挑戦も2位という高位で当選できました。皆様にご厚情を市政の場でお返しできるよう精一杯頑張ります。

昨年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、未だに終息せず、もうすぐ1年になります。ワクチンも治療薬も無い状態で、GOTO キャンペーンでは、完全な終息は難しいと思いますが、経済が止まってしまうというのでは、仕方がないのでしょうか。PCR検査が容易に受けられるようになり、無発症段階で感染を確認できることはよいことだと思います。ウイルスが弱毒化し、重篤化しないことを祈るばかりです。

まだまだ続くこの状況に、医療などお支え戴いている方々には本当に感謝です。一層の安心医療に向けて、精一杯頑張ります。

三田市議会6月議会では、新型コロナウイルス対策をしながら補正予算審議など全日程を議しました。私も、一般質問で、コロナの関連対策やテレワークを活かした三田市の企業誘致の質問をしました。

三田市議会9月議会では、昨年度決算審議を含む全日程を議しました。私も、一般質問や決算審議において、人口問題や平谷川緑地の都市公園化、市民病院や水道、交通対策など、多くの質問をしました。

特に、市民病院では、コロナ対応で受診減に伴う経営悪化に、市より5億円を補填することを議決しました。まだまだ見通しが立ちませんが、まずは安心医療を進めていただく条件だと考えます。また、市職員の一般職の給与削減(3%、若い職員は2.5%)も組合交渉をみて、議決しました。

後援会では、市議会議員選挙に向けた準備や選挙応援をして頂き、感謝しております。私は、後援会や紹介いただいた皆様のお宅を一軒一軒訪問し、ご意見・ご要望・政策提案をいただき、新たな政策へと展開するとともに、選挙戦を精一杯戦わせていただきました。すべてのお宅を廻りきれていませんが、本当にありがとうございました。

急激な人口減少や少子・高齢化と厳しい財政に対して、皆様の声をしっかりと聞きし、IT技術を活かした抜本的な改革を訴え、皆様の声を活かした、安心・元気で持続可能な三田市に向け、頑張ります。引き続き、力強いご支援・ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



三田市議会議員
びとうかずひろ
和広



びとう和広の活動日記

5月以降も行事は中止か書面審議やネット会議等でしたが、9月移行は対策して開催されました。

関連労組定期大会で挨拶の開催で、時間も短縮でした。日頃の皆様へのお礼と活動報告をさせていただきます。



関連労組定期大会

9/13

「投票割」は投票所で「投票済証」をもらい、登録店舗が用意した特典に使えます。

「投票割」は投票所で「投票済証」をもらい、登録店舗が用意した特典に使えます。

今回、投票割を紹介し、問い合わせが多数ありました。



期日前投票のお願い



9/28~10/2

9月27日に選挙戦に突入しました。以下出発式以降の写真となります。



9/27

恒例となりました、倉庫をお借りしての選挙事務所です。中は皆様から戴いた「祈 必勝」のゲキが掲示されました。



出発式：浅居選対長

会社代表：所長から激励

浅居選挙対策委員長長の挨拶。コロナ禍の中、厳しい戦いです。皆様のお力で勝利を！



乾杯：関連労組の三田地区連絡会会長のご発声



会場案内：後援会や労組の皆様の応援に感謝です



花束贈呈：労組代表→ バレーボール協会←



出発式：びとうの決意表明



ガンバロー：電機連合 兵庫地協議長のご発声



選挙カー出発！



3密を避けた出発式、多くのご参加をいただきました。



コロナ禍もあり、選挙前の駅立ち等にクレームが出され、集会や握手ができないなど、活動が難しく、見えない、近づけない選挙でした。本当に厳しい戦いの中、2位当選できました。皆様の力強いご支援に、心より感謝致します。

<今回の選挙の特徴>

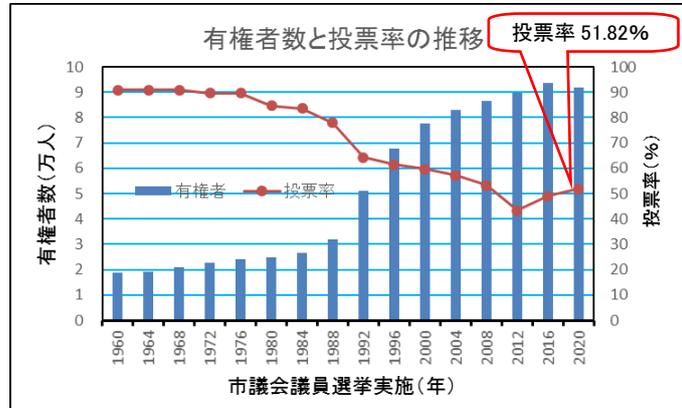
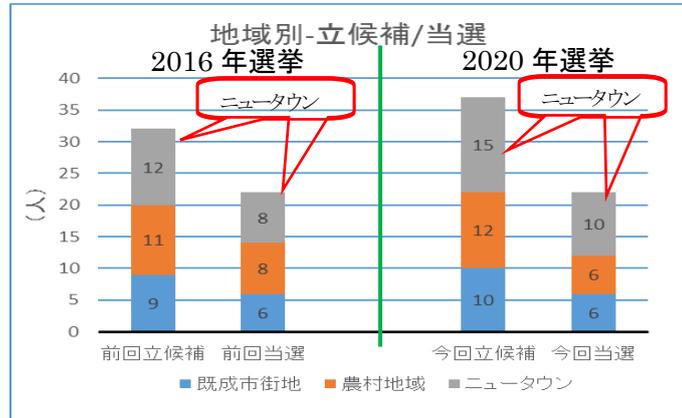
22人の枠に37人。ポスター掲示板も最大級。選挙公報や新聞アンケートで、多くの候補が少子高齢化対策に若者誘致政策を訴えていました。中には、市長案丸のみの議会批判や議員定数を22⇒10に削減を訴える候補もありました。

私は、人口急減少と少子高齢化に対する若者誘致政策、交通対策、雇用戦略、自然を活かした都市緑地公園など「人・まち・自然を輝かせる」政策を訴えて戦いました。

今回の特徴に、ニュータウンの立候補者が15人と過去最高で、傾向として国政に比べ市議選の投票率が低いニュータウン市民が、地域を意識し始めた、と実感しました。投票率は51.82%で前回より2.8ポイント増。投票率が上がった地域は学園を含むニュータウンと三田・三輪地区でした。

(下図:地域別-立候補/当選グラフ 参照)

(下図:有権者数と投票率の推移 参照)



前回から18歳選挙権で有権者が増えましたが、彼らに話を聞くと、親に投票に行けと言われても誰に投票したらいいのか分からない、との声を聴きました。候補者の顔や政策が届く仕組みが必要です。コロナ禍で3密を避け個人演説会や集会が開けなかったこと、また、事務所を持たず選挙カーを使わないでネットや人づてで支援を上げたケースもあり、これからの選挙を考えさせられる、そんな選挙でした。

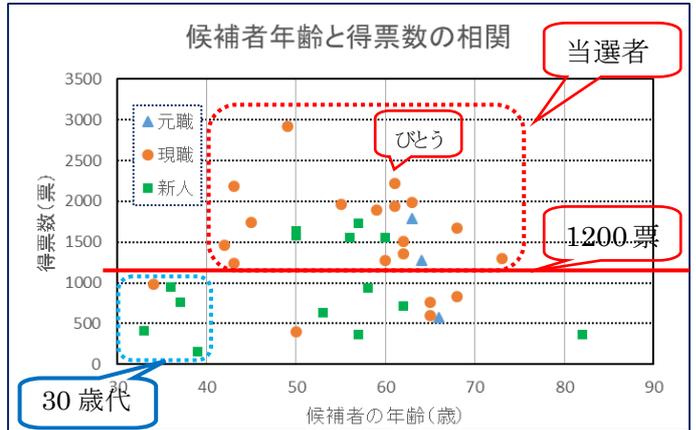
<多くの若い候補者や新人候補者>

前々回から40歳未満の立候補者が、7人・5人・5人と、若い気運が盛りあがってきましたが、その中で当選は、前々回2人・前回3人・今回0人となりました。

また、今回の選挙では、現職20人・元職3人・新人14人と多くの新人が立候補しましたが、コロナ禍で活動が制限され、元気な活動ができず、駅立ちやビラ中心の活動だったのではないのでしょうか。それに対し、組織や地域性を活かし1200票以上を固めた候補が当選できたのではないのでしょうか。結局、当選は現職15人・元職2人・新人5人で、党などに属さない新人当選は1人だけでした。

コロナ禍では、若者や新人には厳しい選挙でした。

(下図:候補者年齢と得票数の相関 参照)



<女性議員について>

選挙直前に全議員に高校生からアンケートがありました。なぜ女性議員が少ないのか、どうしたら増やせるのか、というものでした。確かに、今回の選挙も、立候補37人中5人、当選22人中4人です。私になりに、整理し、回答しました。

思いつく問題を列挙すると、

- ① 固定観念や偏見…〇〇らしさやあるべき論
- ② 出産育児の役割…出産・育児の間、活動しにくい
- ③ 子どもや家族の同意と協力…家族ぐるみ選挙の傾向
- ④ 資金力…組織やスポンサーなど、資金力が必要
- ⑤ プライバシーの無い世界…公表したくない情報もある

対策は、女性が立候補するハードルを下げるのが一番で、女性の役割論や家事・子育て負担も考え、選挙費用や選挙の仕組みも見直しが必要だと思います。クオータ制(*1)もありますが、私は単に数や率の問題ではない、と考えています。民主主義ならば、より多くの属性の人々が議論することが望ましいでしょう。ならば、年齢層や地域層や人種やLGBTやSOGIなど多くの属性も考える必要がありますので、現在の選挙制度を見直さなければいけないと考えます。

まずは、市民皆様の想いを代弁できる議員を送り出すこと、そして私はそのような議員になりたいと思っています。

(*1)クオータ制:政治の男女平等を実現するために、議員・閣僚などの一定数を女性にする制度。北欧諸国などで法制化。

びとう和広後援会より

5月以降の活動はコロナ禍での選挙対応となりました。

食堂の壁一面に寄書き

元気を戴きました！

なお、毎年恒例の三菱電機オータムフェスティバルも、昨年に続き、今年もコロナ禍で中止となりました。

これからも「皆様との対話」を大切に、毎月2回の構内市政相談会を続けるとともに、後援会員のお宅訪問や労組訪問を続けてまいります。

また、今後の計画も、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら進めてまいります。皆様のご理解・ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

国民民主党の議員として

電機連合の方針に従い、国民民主党議員として、兵庫5区の代表として、活動して参りました。

3月22日、党兵庫地協の定期大会が開催され、三田市議会議員選挙における党の公認決定をいただきましたが、9月14日解党し、9月15日に一部は立憲民主党と合流し新・立憲民主党になり、新・立憲民主党の綱領に感じられないメンバーが新・国民民主党を立ち上げました。

びとう和広は、9月中旬の事前審査や選挙手続きを進める中での解党と新党発足、公認は解党とともに反故となり、新たな公認決定機関（兵庫県連絡会）が未整備のため、今回の選挙は無所属とさせていただきます。

投票所で無所属と知り、驚かれた方もあったかもしれませんが、このような経緯でした。

新・国民民主党への加入は電機連合の方針や状況のみで判断致したく、ご理解のほど、よろしくお願い致します。



びとう和広：開票報告会・当選



後援会会長 ご挨拶

日頃より後援会活動に対しまして、ご理解とご協力いただきましてありがとうございます。

このたびの三田市議会議員選挙におきましては、「びとう和広」が、2位で当選できました。今年は、コロナ禍で、後援会活動も十分にできない状況下にありましたが、びとう議員が後援会のお宅訪問を一軒一軒丁寧に廻ってくれたことや、後援会の皆様とともに危機感を共有できたことが、好結果につながったと感じております。ご支援、本当にありがとうございました。

今回の活動で、ご意見・ご要望をたくさん頂き、びとう議員が一つ一つ丁寧に担当部局に確認し、お答えするとともに、市議会で質問し、皆さんからの声を活かそうとしております。

これからも、びとう議員とともに、一歩ずつその歩みを進めていきます。皆様の倍旧のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます、後援会を代表してのご挨拶とさせていただきます。



びとう和広後援会
会長 浅居 繁樹

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitokazuhiro.com>